

社会福祉法人「中東福祉会」の職員を募集します

1、募集職種および受験資格

職 種	採用予定人員	受 験 資 格
事 務 員	2名程度	昭和44年4月2日以降に生まれた者で、高校以上を卒業した者
栄 養 士	2名程度	昭和44年4月2日以降に生まれた者で、短大又は大学を卒業し、栄養士の資格を有する者
生活指導員	22名程度	<ul style="list-style-type: none"> 昭和39年4月2日以降生まれた者で、大学において心理学、教育学又は社会学を修め卒業した者 短大を卒業し、保育士の資格を有する者 高校卒業後、2年以上知的障害者の福祉に関する事業に従事した者 社会福祉士、社会福祉主事任用資格を有する者
保健婦(士)又は看護婦(士)	2名程度	昭和39年4月2日以降に生まれた者で、保健婦(士)又は看護婦(士)、准看護婦(士)の免許を有する者
理学療法士又は作業療法士	1名程度	昭和39年4月2日以降に生まれた者で、理学療法士及び作業療法士の資格を有する者
ケアワーカー(寮父母)	1名程度	<ul style="list-style-type: none"> 昭和44年4月2日以降生まれた者で、短大又は大学を卒業した者 高校卒業後、2年以上老人施設において実務経験を有する者 介護福祉士の資格を持つ者
共通条件		<ul style="list-style-type: none"> 卒業、資格取得については、平成12年3月卒業、取得見込みを含む 自動車普通免許を有する者 受験希望種目は1種目に限る 法人構成市町村(新津市、五泉市、白根市、亀田町、横越町、小須戸町、村松町、津川町、鹿瀬町、上川村、三川村)に住所又は帰省地を有し、採用後通勤可能な者

2、勤務場所・勤務条件

- ・中東福祉会関係施設(いずみの里など)に勤務してもらいます。
- ・職種により交代勤務があり、早出・宿直・夜間勤務等があります。
- ・採用前に事前研修に参加していただきます。

3、試験方法

- ※第1次試験 日 時：10月24日(日)
 受 付：8時30分～9時
 試 験：9時15分～12時30分
 会 場：県立五泉高校
 科 目：一般教養試験、作文試験
- ※第2次試験 日 時：11月28日(日)
 科 目：体力テスト、面接

4、採用年月

平成12年4月(但し、6ヵ月間を試用期間とし、その後勤務良好な者を正規職員として採用します。)

5、受験手続き、申込み先

- ・「いずみの里」「菅名の里」、役場福祉係で書類を交付します。
- ・中東福祉会「いずみの里」へ9月30日(木)までの土・日・祝日を除いた午前9時～午後5時の間に持参してください。(郵送による申込みは受付できません。)

6、問い合わせ先

中東福祉会「いずみの里」(五泉市中川新1498) 電話0250-47-2213

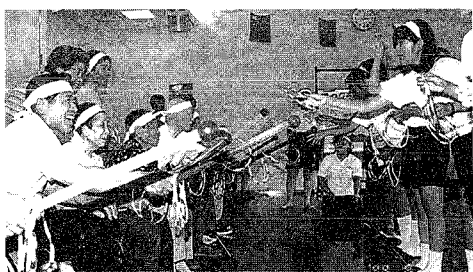
厚生大臣より表彰されました

永年にわたり小須戸町の民生の安定と児童福祉の向上に尽力された功績が認められ、前民生委員児童委員の吉田吉平さんが厚生大臣より表彰されました。



笑顔!! 笑顔!!

大運動会



毎年8月恒例のリハビリ教室運動会が、今年も8月5日開催されました。元気な17名の中学生ボランティアの参加で、いつも増して笑顔!! 笑顔!! の楽しい会でした。今年のはじめて男子中学生のボランティア参加もあり、応援合戦での力強いエールは参加者全員に元気を与えてくれました。「うまく入るかな?」参加者と中学生がペアになったの輪投げの一コマです。

小須戸町選挙管理委員長が代わりました

6月30日付けで今井彌壽雄氏(前委員長)が健康上の理由で辞職されましたので、後任として佐藤道臣氏(前選挙管理委員)が選任されました。また、選挙管理委員に穴澤進氏(前補充員)が選任されました。

地域振興券使用期間は8月31日で終わりました

換金請求は 9月8日(水)・22日(水)の2回を予定しています。登録事業者は、その日までにお手持の地域振興券を忘れずに換金請求手続きをして下さい。

ご寄付ありがとうございました

7月7日に山の手町民チャリティゴルフ大会実行委員会様より、矢代田小学校へ図書として三万円のご寄付をいただきました。

社会を明るくする運動 『愛の協力運動』

会員会費のお礼

7月にご協力をお願いしました「愛の協力運動」会員会費は、四二四、四四四円でした。大変ありがとうございました。皆様の大切な会費は、次のように使わせていただきます。
 ◎罪をおかした人の更生援助・犯罪予防防活動
 ◎保護観察中の非行少年の更生援助
 ◎刑務所・少年院等の慰問
 ◎社会を明るくする運動 小須戸町実施委員会



ほしづきよ。ほしづくよ、とも読みます。古くは月を、熟語の場合「つく」と読んでいたようです。

星月夜

われの星 燃えてをるなり
 星月夜 高浜虚子
 風落ちて 曇り立ちけり
 星月夜 芥川龍之介

ところで、星月夜とは、きれいな言葉ですが、どんな風情のことなのでしょう。これは、月の出ていない夜、満天の星の光で、まるで月夜のように明るく趣のあることを言います。

秋の風情といえば、月明かり、虫の鳴き声などのほか、読書で夜長を楽しむことを思い出します。また、秋は空気が澄んで、星もきれいに見えます。それでも星月夜を楽しめるのは、月の出ていない夜ですから、めったに出合えない貴重なことといえます。

高浜虚子が「われの星」と詠んだのは、自分の好みの星か、早占いの自分の星かばかりですが、星月夜にその星がひときわ明るく燃えて見えるうれしさを詠んだのでしょう。

最近の町中では月の出ていない夜でも、ハネオン月夜Vやハ街灯月夜Vが目立ちます。都会では、なかなか満天の星に親しめることが少なくなってきたのは、寂しいことです。

ところで、夏の暑さが去りほっとすると、疲れが出て体調を壊す人が多いようです。九月は「健康増進普及月間」です。健康づくりの三要素である栄養・運動・休養のバランスのとれた、健康的な生活習慣を身につけたいものです。

